

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	折井 忠明
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3413
事務事業名	4163 遊休農地解消対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	05012100 農業の活性化						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	事業	050000 遊休農地解消対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
農産物の価格低迷、農業者の高齢化及び減少、鳥獣害等のため増加している遊休農地の解消及び拡大防止を図る。				補助金を交付し、遊休農地の解消、拡大防止を図る。 。 中山間地域において集落協定を結び、農地を維持する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
遊休農地解消面積 53,495㎡ 中山間集落協定面積 272,808㎡	遊休農地解消面積 50,000㎡ 中山間集落協定面積 273,043㎡
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名 支援制度を活用した耕作放棄地解消面積						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	5.0ha				
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		9,002	8,727
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	3,382	3,384
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		5,620	5,343
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	4,324.8	3,604.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,324.8	3,604.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.2
総額		13,326.8	12,331.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	25	消耗品 15 燃料費 10
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8,962	地域農政特別対策負担金 200 中山間地域直接支払交付金 4,482 遊休農地解消対策事業補助金 4,280
その他	15	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	消耗品費15 燃料費10
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8,687	市民農園負担金 200 遊休農地解消対策事業補助金 4,000 中山間地域直接支払交付金 4,847
その他	40	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	農業者の高齢化、後継者不足により遊休農地は発生する現状では、必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	年度当初目標を達成する申請があることから、有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	補助支援制度がなければ、遊休農地解消を図ることは困難な状況です。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

有効作物等の栽培に向けた検討が課題。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
遊休農地面積は減る傾向にあるが、引き続き解消対策支援等を継続する必要がある。		遊休農地面積は減少傾向にあるが、農業の担い手不足、高齢化等の要因により遊休農地の発生が懸念される。引続き総合計画に沿った解消対事業を進める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	